

2024年3月28日

報道関係各位

**タツタ電線株式会社が関西大学イノベーション創生センター内にラボを設立
～産学連携による大学の研究成果の社会実装と新規事業の創出を目指す～**

タツタ電線株式会社（本社：大阪府東大阪市岩田町、代表取締役社長執行役員 山田 宏也、以下、「タツタ電線」）は、産学連携による新規事業創出の拠点として関西大学イノベーション創生センター内にラボを設立し、3月7日に開所式を行いました。



<左から、タツタ電線執行役員坂本勝、関西大学教授石川正司、タツタ電線社長山田宏也、関西大学教授山本秀樹、タツタ電線常務執行役員中村正幸、関西大学教授西岡健一、タツタ電線グループ長岩井靖（敬称略）>

本件のポイント

- 関西大学との産学連携のもと、大学における最先端の研究成果の社会実装及び新たな事業を創出するための拠点として、関西大学内にラボを開設
- 本ラボを拠点とした事業の第一弾として、分散ソリューション提供サービス「マゼラボ」を開始
- 最先端で高品質な製品・サービスを創出し、社会の持続的成長に貢献

■設立の背景と目的

タツタ電線は、電線・ケーブル製造で培った独自技術を応用・高度化させ、エレクトロニクスの進展という社会的要請に応えながら、創業以来75年超にわたり、新しい事業領域を開拓してきました。製品の提供を通じて世の中の持続的成長に貢献することが、タツタ電線の事業の起点であり、社会やお客様のニーズを最優先する先端技術・製品開発志向の文化は連綿と受け継がれてきたタツタ電線のDNAです。

社会・経済情勢の変化やAIをはじめとした急速な技術革新等により、あらゆる産業においてこれまでに類を見ない大きな変革期を迎えています。これを好機と捉え、タツタ電線は、先端的技術をもつ国内外のスタートアップ企業等とのコラボレーションを積極的に進めています。このオープンイノベーションの取り組みをさらに前進させ、産学連携し、最先端の知を吸収して新たな事業を創出するための拠点として、関西大学イノベーション創生センター内にラボを設立しました。

■活動内容

1. 凝集エネルギー密度※研究の社会実装

材料開発分野において、関西大学 環境都市工学部 山本秀樹教授の凝集エネルギー密度※に基づく科学的アプローチの社会実装・実用化を加速。

2. 分散ソリューション提供サービス「マゼラボ」の事業展開

本ラボを拠点とした事業の第一弾として、タツタ電線が保有する材料の分散・混練技術、ノウハウを活用し、「製造業によるコト売り」への挑戦となる新規事業「分散ソリューション提供サービス『マゼラボ』」を開始。

「マゼラボ」では、関西大学 環境都市工学部 山本秀樹教授と連携した凝集エネルギー密度※に基づくコンサルテーションをはじめ、機能性材料開発における課題解決サービスの事業化を目指す。

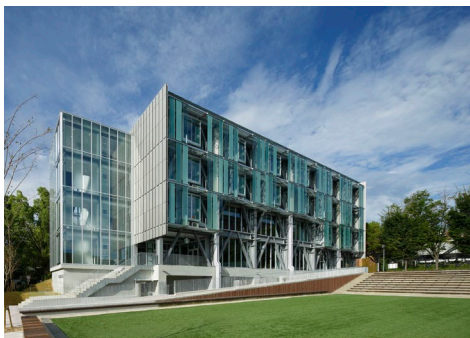
※凝集エネルギー密度 (Cohesive Energy Density : CED) :

単位体積当たりの凝集エネルギー密度を表す物性値であり、物質間の相溶性・微粒子の溶媒中の分散性の評価に使うことが出来る。関西大学 環境都市工学部 山本秀樹教授は本件に関する多数の学術論文および特許を発表している。

本ラボを起点に、最先端で高品質な製品・サービスを創出し、社会の持続的成長に貢献します。

■施設概要

所在地：大阪府吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号 関西大学 イノベーション創生センター3F



<関西大学イノベーション創生センター外観>



<ラボ内部の様子>

■代表コメント

【タツタ電線株式会社：代表取締役 社長執行役員 山田宏也 コメント】

ビジネス環境の予測が困難な VUCA（ブーカ）の時代と言われるなか、当社自身も益々変わっていかねば変化に取り残されるとの危機感を強く持っています。この関大ラボは、関西大学との産学連携のもと、世の中の変化の波を捉えて新たな事業を創出するための拠点です。関西大学イノベーション創生センターは若者のエネルギーに溢れ、最新の設備が揃っており、この素晴らしい環境で当社社員が大学の皆様と一緒に仕事に励めることを大変幸せに感じています。本ラボを起点に、新たなビジネスのタネが次々と生まれ、入居企業の成功例の一つとなるよう、精進してまいります。

【関西大学：副学長／環境都市工学部 教授 山本秀樹 コメント】

このたびは関大ラボの設立、誠におめでとうございます。新製品の開発スピードが加速化、高度化するなか、機能性材料の開発にAIを使う時代がもう目の前にきています。私は、タツタ電線とともに、大学での研究分野である物質の分子間力の凝集エネルギー密度を基礎としたAIによる材料開発の成功例をつくりたいと考えており、関大ラボはその実用化に向けた第一歩になると確信しています。また、全13学部を有し多様な学生が在籍する関西大学から、将来タツタ電線で活躍する人材が多く輩出されることも期待しています。

【関西大学：イノベーション創生センター長／化学生命工学部 教授 石川正司 コメント】

関大ラボの開所に対してお祝いを申し上げますとともに、イノベーション創生センター内に設置いただいたことに感謝いたします。本センターは関西大学の学是である「学の実化（がくのじつげ）」の実現に向け、大学の研究成果の社会実装を目指すための施設です。ベンチャー企業の育成のみならず、既存企業の社内ベンチャーや新事業開発との親和性もあり、院生、学生も参画できる施設ですので、常識にとられない若い発想とのキャッチボールから新しいアイデアが生まれることを期待しています。



<ラボ視察の様子>

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

タツタ電線株式会社 マゼラボプロジェクト

TEL 06-6721-3011

Mail amaze-lab@tatsuta.com

【取材に関するお問い合わせ先】

関西大学 総合企画室 広報課 担当 明原、玉村、中村

TEL 06-6368-1131

FAX 06-6368-1266

Web www.kansai-u.ac.jp